

科目名	看護コミュニケーション論 Nursing Communication
授業形態	講義、演習
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	春C 木曜3～6時限
単位数	2単位
担当教員名	金澤 悠喜 Yuki Kanazawa 日高 紀久江 Kikue Hidaka 大宮 朋子 Tomoko Omiya 川野 亜津子 Atsuko Kawano 出口 奈緒子 Naoko Deguchi 非常勤講師: 稲富 正治 Masaharu Inadomi
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること 金澤 悠喜 4B棟501室 ykanazawa@md.tsukuba.ac.jp 日高 紀久江 4B棟504室 kikueh@md.tsukuba.ac.jp 大宮 朋子 4B棟410室 toomiya@md.tsukuba.ac.jp 川野 亜津子 4B棟511室 AKAWANO@md.tsukuba.ac.jp 出口 奈緒子 4B棟512室 ndeguchi@md.tsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	1. 自己理解、他者理解を促すコミュニケーション理論を説明できる 2. カウンセリング理論を看護に適用したコミュニケーションの方法を説明できる 3. コミュニケーションの差異を理解することができる 4. ノンバーバルコミュニケーションについて知り、実践に生かすことができるようになる 5. 看護コミュニケーションに関する研究の意義を説明できる 6. 看護コミュニケーション技法を用いて、対象ニーズについて考察することができるようになる 7. 看護コミュニケーションにより、対象のニーズに合わせた指導案の作成および実施ができるようになる 8. 看護コミュニケーションの技法を実践することで、自己の課題を導き出すことができる
他の授業科目との関連	フィジカルアセスメント、家族生活アセスメント学、助産学特論Ⅰ、助産学特論Ⅱ、助産学演習Ⅰ
履修条件	なし
授業概要	看護職の基本的な資質である豊かな人間性を発展させ、看護の対象となる様々な生活背景をもつ人々の理解のためのコミュニケーションについて、看護の視点から理論と方法を教授する。さらに、集団指導・個別指導などの場面に応じたアクティブラーニング手法を用いてロールプレイを実施し学びを深める。
キーワード	看護コミュニケーション Nursing Communication カウンセリング counseling 自己理解 self-understanding 他者理解 understanding of others

授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. (7/4) 看護コミュニケーション論のねらいとすすめ方(大宮・出口) 2. (7/4) ヘルスコミュニケーション概論(大宮・出口) 3. (7/4) ヘルスコミュニケーションの理論(1)(大宮・出口) 4. (7/4) ヘルスコミュニケーションの理論(2)(大宮・出口) 5. (7/11) 看護コミュニケーションの実際(1)(稲富) 6. (7/11) 看護コミュニケーションの実際(2)(稲富) 7. (7/11) 看護におけるノンバーバルコミュニケーション(1)(日高) 8. (7/11) 看護におけるノンバーバルコミュニケーション(2)(日高) 9. (7/18) ヘルスコミュニケーションの現場での生かし方(大宮・出口) 10. (7/18) コミュニケーション技法に基づいた個別指導案の作成(金澤・川野) 11. (7/18) 個別指導立案のための看護コミュニケーションの実際(1)(金澤・川野) 12. (7/25) 個別指導立案のための看護コミュニケーションの実際(2)(金澤・川野) 13. (7/25) 看護コミュニケーションの技法に触れる(1)(金澤・川野) 14. (7/29) 看護コミュニケーションの技法に触れる(2)(金澤・川野) 15. (7/29) コミュニケーション技法に基づいた保健指導案の作成(1)(金澤・川野) 16. (7/29) コミュニケーション技法に基づいた保健指導案の作成(2)(金澤・川野) 17. (7/30) 看護コミュニケーションの実際(1)(金澤・川野) 18. (7/30) 看護コミュニケーションの実際(2)(金澤・川野) 19. (8/1) 個別指導の実際および看護コミュニケーションの課題(1)(金澤・川野) 20. (8/1) 個別指導の実際および看護コミュニケーションの課題(2)(金澤・川野)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	<p>講義(50%)と演習(50%)を併用する 講義15時間、演習15時間(授業時間外9~0時間)</p> <p>演習では、指導案の作成および実施を行ってまいります。その上で、自己のコミュニケーション力の課題を導き出すことができるようにしていますので、授業時間内で指導案の作成が難しい場合には、授業時間外で行い指導実践に臨んでください。</p>
成績評価方法	<p><評価方法></p> <p>①指導案内容:授業での学びおよび対象のニーズが反映された個別性のある指導案であるか。</p> <p>②レポート課題:看護におけるコミュニケーションの問題を1つあげ、その問題を解決する方策についてコミュニケーションに関する理論を用いて論述してください。</p> <p>提出期限:2019年8月2日17時 提出先:4B棟5階501号室(金澤)</p> <p><配分割合></p> <p>①指導案内容:50% ②レポート課題:50%</p>
教材・参考文献・配布資料等	適宜プリントを配布し、それに沿って進める。従って指定する教科書はない。
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	